

ライフ

よさこいチーム「REDA舞神楽」

(船橋市)

嗚子を手に、きらびやかな衣装をまとってエネルギーに踊る「よさこい」。県内の踊り手でも草分け的存在なのが、2000年12月に結成したこのチームだ。古いだけでなく、毎年秋に千葉市で開かれる「千葉よさこい」では3年連続でグランプリ受賞と、実力も定評がある。

メンバーは約90人で、ほとんどが船橋市民。年齢は10歳から65歳と幅広く、9割が女性。職業も、主婦を中心に学生、会社員、教師、警察官と様々だ。

チーム名は、「ギリシャ神話」に出てくる「レダと白鳥」に由来する。地図上の船橋市の形が白鳥座に似ているからで、さらに神楽を舞うイメージも重ねたという。

3年前から元「劇団四季」団員の石川ちひろさん(31)をプロデューサーとして招き、振り付けの指導を受けている。今年のテーマはまつり。春の水神祭、夏の花火、ばか前踊り、船橋大神宮の灯明な

県内草分け 厳しく、楽しく

ど、船橋らしさを前面に出したものになるという。

結成以来、チームの運営に携わってきた関根金一郎副団長(49)は「練習は厳しいが、みんな一つの目標に向かって頑張っている。やってみると、見て楽しいのがよさこいの魅力」と話していた。

(三木誠司)

メモ 練習は毎週火、金曜の午後7～9時。会費は1か月一般3000円(高校生まで2000円)。衣装代や遠征費は別途負担。問い合わせは田尻敬子さん(090・3400・4971)へ。

ま
ち
で
元
気

